

# 改修工事に係る基本的な方針（案）

基本的な考え方（教育振興基本計画）

【重点目標】教育施策推進のための体制・環境の整備・充実

## 安全・安心で質の高い教育環境の整備

基本的な考え方と両校の現状（築年数・規模等）を踏まえた改修の方針（両校の相違点）

### 西脇東中学校

- ・校舎は築30年を経過し、外壁等に一部劣化等がみられる。
- ・全6学級編成を想定した建物であり、統合後、少人数用の教室が不足、職員室等が手狭になる。

#### 【改修の基本方針】

→増築によるスペース不足の解消・一部の劣化への対応

### 黒田庄中学校

- ・校舎をはじめ、施設全体が築40年を経過し、外壁、屋上防水等に劣化等がみられる（修繕が頻発）。
- ・一部設備の劣化がみられるほか、統合後、職員室等が手狭になる。

#### 【改修の基本方針】

→全般的な経年劣化への対応

# 西脇東中学校の改修（想定案）

## 西脇東中学校

- ・校舎は築30年を経過し、外壁等に一部劣化等がみられる。
- ・全6学級編成を想定した建物であり、統合後、少人数用の教室が不足、職員室等が手狭である。

### 【改修の基本方針】

→増築によるスペース不足の解消・一部の劣化への対応

### 【現時点で想定される改修例】 ※1

- ・校舎外壁の一部劣化への対応（塗装改修ほか） } 機能維持 →
- ・少人数学習用教室等の増築※2（軽量鉄骨造2階建て<sup>想定</sup>）
- ・職員室の増築、トイレ改修（和式便器の洋便器化）
- ・駐輪場等増設、外構（通学バス乗り入れ対応）改修 } 環境改善 ↑

※1 上記のほか、今日的課題等に対応した学習環境整備（備品含む）も想定されます。

# 西脇東中学校の改修（想定案）

## ※ 2 西脇東中学校の増築校舎について

### 【現状・必要性】

- ・ 同校は、30年前に**全6学級想定で建築** → 生徒数減少に伴い教室が余剰 **余剰を少人数学習用に活用中**
- ・ 統合後学校は**当面6学級**となり、**少人数学習用教室が不足**

### 【建築条件等】

- ・ 使用中の学校での工事となるため、**工期の短縮化**が必要
- ・ 既存学校の一部建物となるため、シンボル性等の**外観デザインは重視されない**（シンプルな外観）。
- ・ 使用期間を踏まえた**耐用年数**を見込めればよい（RC造の場合60年程度）。

上記の必要性や建築条件から、**プレハブ工法**を用いた**軽量鉄骨造の「規格建築物」**の採用を想定

## 増築校舎について



- 規格建築：工期・コスト等にメリット
- 快適性等の環境面は在来工法と同等（空調・設備等も同様）

## 黒田庄中学校

- ・校舎をはじめ、施設全体が築40年を経過し、外壁、屋上防水等に劣化等がみられる（修繕が頻発）。
- ・一部設備の劣化がみられるほか、統合後、職員室等が手狭になる。

### 【改修の基本方針】

→ 全般的な経年劣化への対応

### 【現時点で想定される改修例】 ※1

- ・校舎外壁劣化への対応（塗装改修ほか） ※4
- ・体育館・柔剣道場外壁劣化への対応（塗装改修ほか）
- ・体育館屋根・壁面 雨漏への対応（防水改修）

機能維持 →

- ・職員室増築
- ・外構等（通学バス乗り入れ対応）改修

環境改善 ↑

※1 上記のほか、今日的課題等に対応した学習環境整備（備品含む）も想定されます。

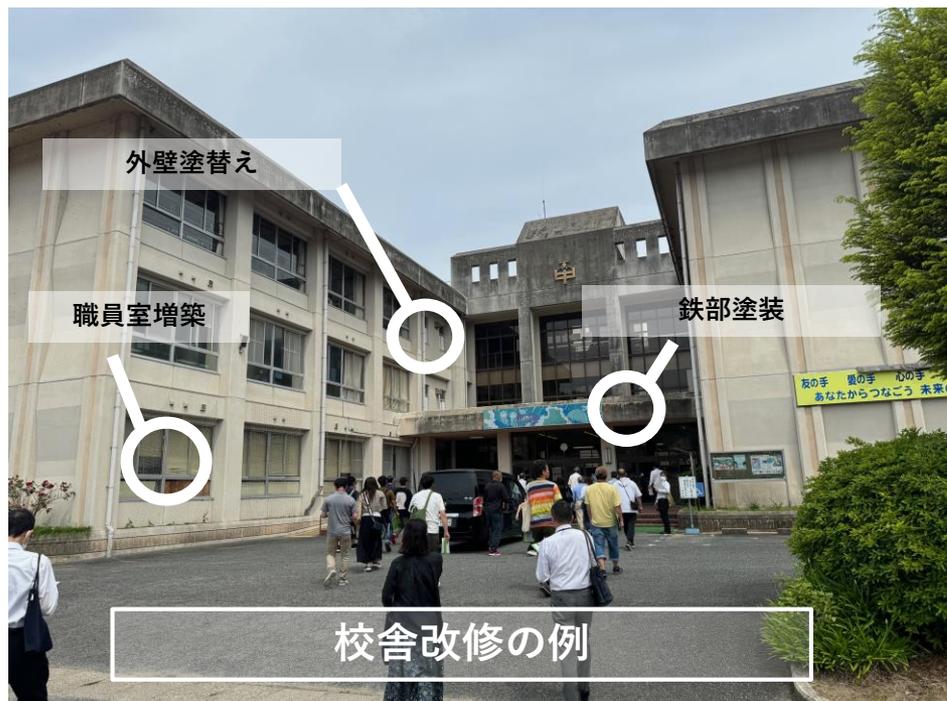
## ※ 4 黒田庄中学校の改修工事について

### 【現状・必要性】

- ・ 同校は、**築40年を経過**し、体育館等で**雨漏れ**などが発生
- ・ 外壁仕上や屋上防水等、**建物機能を維持するための部材に経年劣化**が進行

### 【工事条件等】

- ・ 使用中の学校での改修となることなどを踏まえると、**全面的な改修には制約**（工期等）が生じる。



### 【現時点で想定される内容】

- 雨漏れの発生に対し、その都度、部分的な修繕で対応（発生修繕）していた箇所等に対し、改修を実施
- 築40年を経過し、経年劣化が進む外壁仕上材等への対策
- その他当初整備した一部設備等の老朽化に伴う設備更新が必要